新松田駅周辺整備事業イメージ図

■ 事業をするためには借金、起債をするしかない。借金が増えれば財政負担が大きくなって、将来的に住民サービスの低下が考えられる。

■ 時期尚早であるならば、妥当な時期はいつごろと皆さんお考えか。

■ 公共施設の管理計画はこれから個別計画が示され、そこで松田中学校や松田幼稚園等の金額が出る。今後の懸案事項を加えたものを見てから、どのように進めるべきか、判断するべきである。今は認めるべきではない。

■ 令和3年度には足柄上地区ゴミ処理施設の工事概要が発表され、すごい額の概算工事費が出るので、財政推計の全額が分かる。そこで、将来の財政負担を踏まえ決断すべきである。

■ 財政力指数・財政調整基金を2市8町で比べると当町の財政力は本当に厳しい。公債費比率は13％くらいで収まっているが、今後の広域での行政需要や町有施設の大規模補修を含めるともっと多くなる。起債制限のかかる18％と比べてどう考えるか。データが揃うまで様子を見るべきである。

■ 現在進められている松田小学校建設、今後の一大事業としても見込まれている松田中学校の改修工事等を含めた中での北口整備事業は修正すべきである。議会独自に特別委員会の中で調査研究を行い答えを出すまでの間は、事業費を残し債務負担行為を削るべきである。

三事業を凍結とした理由

凍結とした3事業は、ジビエ処理加工施設の設計と建設工事（3000万円）・木質バイオマス利用促進事業補助金（200万円）・議会オンライン化に伴なうタブレット購入費（89万円）で、総額3289万円です。この3事業については、議会が指摘した次の内容を令和3年度中に解決するまで、予算の執行を凍結することを、予算審査特別委員会の付帯項目としました。

ジビエ加工処理施設

農作物の被害防止のため、有害獣駆除事業と処理施設を一体化して展開する政策には賛成する。

しかし、足柄上地区の市や町と連携して処理施設を建設することであったが、覚書は交わされず建設負担金に関する返済方法や維持管理費も不明点が多い中で、松田町の単独施設として予算計上された。

さらに、建設予定地周辺住民の同意が取れていないことや、施設管理を予定している猟友会との調整が不足しているため、凍結するべきと考える。

木質バイオマス

昨年の8月臨時会で、健康福祉センターの薪ボイラー導入について、賛成多数で可決している。

その際に、予算審査特別委員会の付帯項目として、薪燃料供給体制を至急確立し議会に報告すること。示された維持管理経費以内での運用を行い、町財政に負担をかけないことを申し入れている。また、計画が甘いので課題が多く心配の事業である。

これらの懸案事項が解決するまでは、凍結すべきと考える。

議会のタブレット

議会のコロナ対策として、オンライン化のためのタブレット購入費が、国・県の補助金を活用しないで、町の一般財源（町税）だけで計上されている。コロナ禍で収入減となっている住民の支

利用予定の薪燃料

※予算の凍結とは…

期限や解除する理由を付けて、それまでの期間の予算の執行を止めること。委員会報告書の中に事業名、理由と期限を付けて凍結という一文を盛り込んであるが、法的拘束力はないので、修正議決とは異なる。